

平成26年3月5日

お知らせ

件名

マリンビジョン女性交流会議の議事概要について

お知らせ内容

北海道マリンビジョン21^{*}の具現化にあたり、女性による活動や地域振興に対する視点が重要であることを踏まえ、マリンビジョン女性交流会議を開催し、地域マリンビジョンに取り組む女性を中心とした情報交換や新たな活動の検討を行っています。

平成26年2月18日（火）に開催しました、本会議の議事概要を別紙のとおりお知らせします。

※北海道マリンビジョン21

北海道マリンビジョン21とは、北海道が我が国の水産食料供給基地として、地域の資源を活かしながら、多様な主体の連携・協働により活力ある水産業や漁村の実現を図るため、概ね10年後を通過点として、その先の目指すべき姿を定めた長期的構想です。

※北海道マリンビジョンの概要・本編等については、以下のHPからご覧になれます。

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_gyoko/mv21_about.html

	所 属	役 職 名	氏 名	代表電話
問い合わせ	北海道開発局 農業水産部水産課	課 長 補 佐	首藤 敦	709-2311 内線 5593
わせ先	北海道開発局 農業水産部水産課	漁港漁村係長	西村 裕毅	709-2311 内線 5599

マリナビジョン女性交流会議 議事概要

日 時： 平成 26 年 2 月 18 日（火） 14 時 00 分～16 時 00 分

場 所： ホテルポールスター札幌 3 階 ハーモニー

出席者： 古屋委員長、逢坂委員、北川委員、大友委員、前川委員、桂川委員、村椿委員、高橋委員、山下委員、岡委員の 10 名

概 要： ○ 当初、マリナビジョン女性交流会議の今後の進め方等について議論し方針決定する予定としていたが、平成 26 年 2 月 17 日の低気圧に伴う暴風雪の影響により約半数の委員が欠席となった。このため、当日の会議は、女性視点からみた地域マリナビジョンに係る課題全般について意見交換することとし、当面の活動方針の決定については次年度の会議において改めて対応することとした。

○ 主な意見は以下のとおり。

- ① 地域マリナビジョン協議会等の会議においては、そもそも女性の委員が少ないため、意見を出しづらい、また、反映されにくい環境にあり、改善すべき。
- ② 地域マリナビジョンの取組に対して、より積極的にかかわりたいという女性が多いにもかかわらず、役場や組合等からは、その情報提供が少ない。
- ③ 女性はソフト対策をメインに取り組んでいるイメージをもたれているが、荷捌きの手伝いや女性食堂の運営など漁港内での活動機会も多く、漁港整備に関しても、もっと意見を聞いてほしい。
- ④ マリナビジョン関連の情報を地域の関係者に幅広く浸透させるため、より効果的な情報発信や情報共有にむけた取組強化が必要。
- ⑤ 地域マリナビジョンの取組は、水産分野に限らず、例えば漁協女性部と農協女性部との連携や他地域・他県との連携等も積極的に進めるべき。
- ⑥ これまで本会議において作成してきた「マリナビジョン・料理レシピ」の充実化が必要ではないか。また、作成したレシピを地域の特産品やイベントの PR にも活用してはどうか。
- ⑦ 昨年策定した「マリナビジョンマーク」は、地元の商品への添付やイベントでの掲示等、積極的に活用すると効果的。マリナビジョンマークをもっと PR し、また、シールの作成などにより使いやすくしてほしい。